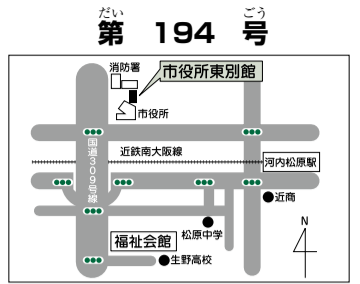




社協まつばら



編集・発行 社会福祉法人 松原市社会福祉協議会

〒580-0043 ホームページ

大阪府松原市阿保1-1-1 松原市役所東別館内 TEL.072-333-0294 FAX.072-335-0294
http://www.matsubarashakyo.net E-mail webmaster@matsubarashakyo.net

※社協まつばら1月号に掲載の内容は、天候・感染症などの影響を受け、中止・変更になる場合があります。申込み不要の内容についても事前にご確認ください。

まつばら子どもの居場所拡がる 応援募金にご協力を

松原市では、さまざまな地域の住民やNPOが主体となって、子ども食堂や子どもサロンを開設しています。

「いつでも入っといで～」と子どもたちを真ん中に、地域のみんなでご飯を食べたり、自由に過ごせる居場所をまちに作ることをめざしています。

そしてそれらの活動を行う団体を応援するため、今年も共同募金の一環として、子どもの居場所づくり支援に用途を限定したテーマ型募金運動を実施します。

募金は「松原子どもの居場所づくりネットワーク」を通じて、子ども食堂などに取り組む団体への支援に活用されますので、多くのおみなさまからの応援をお願いいたします。

●募金受付期間：1月1日(水)～2月28日(金)

●募金振込先：ゆうちょ銀行

口座番号：00900-2-284737

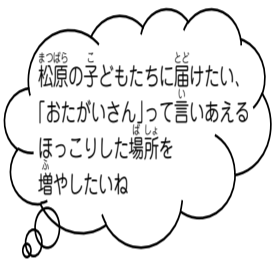
おすそ分け応援団 ー□ 1,000円
ご近所さん応援団 ー□ 3,000円
まちの人応援団 ー□ 5,000円

口座名義：社会福祉法人大阪府共同募金会松原地区募金会

※ゆうちょ銀行窓口での振込手数料は免除になります。

●問合せ先：松原地区募金会事務局・松原市社会福祉協議会

☎072-333-0294



もったいないをありがとうに フードドライブ活動へご協力ください！

子どもだけで食事をすることを解消し、地域交流の場となる子ども食堂などへの支援、食品ロスの削減を目的に、フードドライブ活動を行います。

持ち寄られた食材を、松原市内でこれらの活動を実施する団体や、生活が困窮されている方へ提供します。

※フードドライブとは…各家庭で眠っている食品を持ち寄り、それらを地域の福祉団体や、フードバンクに寄付する活動

●と き：2月12日(水)～2月14日(金) 10:00～15:00

●と ころ：松原市役所 1階 市民ロビー

●対象商品：①米 ②乾麺(うどんなど) ③乾物 ④缶詰

⑤調味料 ⑥ペットボトル飲料(お茶・ジュース)

⑦お菓子などで、次の条件をすべてみたすもの。

※未開封のもの。賞味期限が2ヵ月以上あるもの。常温保存できるもの。

●主 催：松原子どもの居場所づくりネットワーク

●問 合 先：事務局 (福)松原市社会福祉協議会

☎072-333-0294

●後 援：松原市



昨年8月の開催時にも、たくさんのご寄付をいただきました。

まつばら大じゅずつながぎ

まつばら人をリレー形式で紹介するコーナー
橋詰 麻紀さんからの紹介で

第94回目 錦見 友江さん(立部在住)

アメリカから取り寄せた子供服の古着を自宅やフリーマーケットで売ることから始め、堺市や松原市内でいくつかお店を構えたあと、上田5丁目婦人服のお店を10年以上されています。

子育てや他の仕事も経験しながら30年近く続けてこられたコツを聞くと、「いつやめてもいいように無理をしない、借金や大きな挑戦をしない」との

こと。子供服を扱っていた時やコロナ禍、物価高の苦労話もありましたが、1つのブランドに偏らず、自分が着たいと思う服を実際に見て1点1点仕入れているそうです。また、お店の内装も素敵で、こちらはなんと夫・いとこ・弟の合作だとか。

コロナ禍でお客さんも気持ちが沈んだ人も多かったそうですが、「服を見るだけでもワクワクしてもらいたい、「暇やろうから来たっただ」と言ってしゃべりに来てくれるだけでもいい」と、松原の人にとって心地よい空間になることを願っている錦見さんなのでした。



リンパドレナージュ(リンパの流れをよくする施術)、ツボ、マッサージ、お花を植える…、もっとお聞きしたかった、多彩な趣味をお持ちの錦見さん。



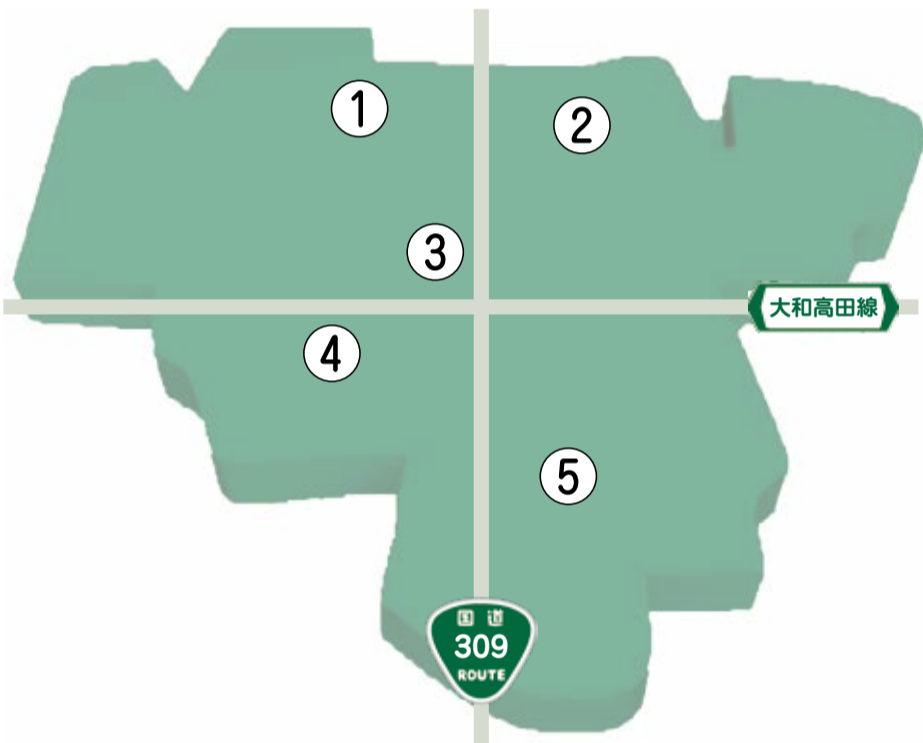
元希者カフェに集まりませんか？

元希者カフェは、身近な集いの場です。お近くの会場でおしゃべりをしたり、体操をしたり、楽しい1日を過ごしませんか。ご近所同士やご友人と一緒に、あるいはお1人での参加も大歓迎です。参加希望の方は各担当のコーディネーターにご連絡ください。

まつばらししゃかいふくしきょうぎかい **三島**
松原市社会福祉協議会



つるかめ苑の様子。体を動かしてリフレッシュ中です。



① **天美荘(天美東9-12-7)**

日程：1月9日(木)・3月13日(木)

問合先：デイサービスセンターひまわり
南光

☎072-334-7221



② **松寿苑(阿保2-28-1)**

日程：1月30日(木)・3月27日(木)

問合先：聖徳会 有馬

☎072-289-7160



③ **まつばらテラス(輝)**

(田井城3-104-2)

日程：1月24日(金)・2月28日(金)・
3月28日(金)

問合先：松原市社会福祉協議会 三島

☎072-333-0294



④ **つるかめ苑(南新町3-3-12)**

日程：2月3日(月)・3月3日(月)

問合先：阪南中央病院 飯塚

☎072-338-7799



⑤ **松南苑(岡6-5-37)**

日程：1月28日(火)・3月25日(火)

問合先：遊づる 長光

☎072-335-0146



対象：65歳以上の方

内容：認知症予防の体操、脳トレなど

飲み物の提供あります(コーヒー・お茶など)

時間：13:30～1時間程度

参加費：100円

みんなでつくる支え合うまちづくりを目指す 生活支援コーディネーターの活動を紹介します

生活支援コーディネーターとは、

高齢者が安心して住みやすいまちづくりを目指して、地域の住民組織や団体と連携しながら、支え上手・支えられ上手の地域づくりや生活支援サービスの充実をすすめます。生活支援コーディネーターは、松原市全域を担当する「第1層」、各地域を担当する「第2層」に分かれています。

コーディネーター4つの役割

地域を知る・学ぶ・考える

高齢者の方を対象としたアンケート、地域の方との話し合いの場

身近なところに居場所をつくる

地域の通いの場(元希者カフェ・脳トレ教室・認知症カフェ)など

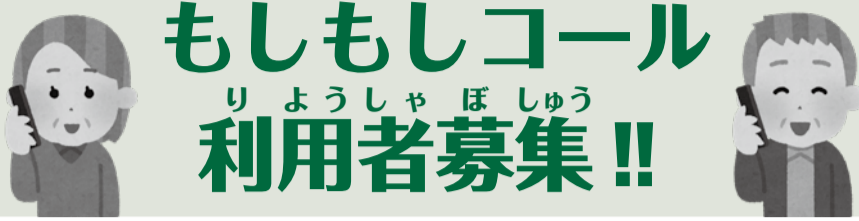
地域を支える担い手をつくる

元希者カフェスタッフ・棒体操リーダー・生活支援サービス従事者養成講座など

新しい仕組みづくり

スマートフォン相談会・ZOOMを使った棒体操教室やチューブ体操教室など

～声聞いたら元気出るわ
ボランティアさんからの電話でひと安心～



「自宅にこもりがち」や「人と話す回数が減ったまま」などのお声をご高齢の方よりいただくことがあります。自宅にお住まいのひとり暮らしの高齢者の方が、地域で安心して暮らすことができるよう、協力員のボランティアが月1、2回程度(10分程度/回)になりますが、お電話で健康状態や安否の確認を行う「もしもしコール」を実施します。

ご利用できる方

下記のすべてにあてはまる方

- ★市内にお住まいの概ね70歳以上で、ご本人が希望される方
- ★自宅にひとり暮らしで、身体状況等により声かけ・安否確認が必要な方
- ★ご自身でお電話を取ることができ、意思疎通がある程度行える方
- ★その他、必要と認められる方

内容(利用にはスタッフが事前訪問&登録が必要です)

- ①月に1、2回、第2・4の火曜日または水曜日の午前中にボランティアが利用者に電話し、声かけ・安否確認を行います。
※土日祝日・年末年始は除く
- ②ご様子がいつもと異なる場合や不在が続く場合等、松原市社協(まつばらボランティアセンター)を通じ緊急連絡先や関係機関に連絡します。

問合せ先

まつばらボランティアセンター ☎072-339-0741
(担当：仲野)

「子どもが子どもらしく生きる」を
テーマにフォーラム開催

令和4年9月に立ち上がった「松原ヤングケアラー啓発連絡会」と「子どもの居場所づくりネットワーク」が協働でフォーラムを開催します。

「本来大人が担う家事や家族の世話などで負担やしんどさを感じている子どもたち」が、学校や地域社会で、子どもが子どもらしく生活して行けるように、自分自身ができることを子どもたちのために一緒に考えてみませんか。

- 日時：1月22日(水) 15:30~17:30
- 場所：まつばらテラス(輝)3階 多目的ホール
- 内容：ヤングケアラーについて
元当事者による実際の話、松原市内での取り組み、法改正の現状など
講演者 田崎 由佳 氏
(NPO法人やんちゃまファミリーwith)ほか
- 対象：ヤングケアラーに関心のある方や子ども食堂や子どもサロンを開催しているなど、ご興味、関心のある方大歓迎
- 問合せ・申込先：NPO法人やんちゃまファミリーwith ☎072-330-2511
- 協働：松原ヤングケアラー啓発連絡会・子どもの居場所づくりネットワーク

ボラ連だより
松原市ボランティア連絡会からのお知らせ

～一緒に松原のボランティア活動を考えてみませんか?～

松原市ボランティア連絡会、2025年は

「より活発に」を目指します!!



松原市ボランティア連絡会は、地域の市民交流活動団体で構成されるボランティアのネットワーク組織です。ボランティア関係者の交流や親睦、情報交換や学習を中心に行い、松原市内の活動にも積極的に協力しております。今年は、更に活動が広がる仕組みを企画し実施を目指します!! みなさん、ボランティア連絡会に加入し、一緒に活動しませんか?

●問合せ先：まつばらボランティアセンター ☎072-339-0741

福祉委員会活動紹介パネル展を
開催します!

- 日時：1月28日(火)~1月31日(金) 10:00~15:00
- 場所：松原市役所 1階 市民ロビー
- 内容：福祉委員会活動パネルの展示
簡単な喫茶コーナーを設けます。ぜひともお越しください。
- 主催：市内の福祉委員会、(福)松原市社会福祉協議会



子どもたちに物を大切にすることを育んでもらうという思いを込めて、ご家庭で故障したおもちゃの修理などを行います。お気軽にご相談ください!

まつばら おもちゃ病院
開院します!



- 開院日：1月19日(日)・2月16日(日)・3月16日(日) 9:30~12:00
原則毎月第3日曜日
- 場所：松原市総合福祉会館 2階(新堂1-589-6)
- 実施主体：ボランティアグループ「まつばらおもちゃ病院」

- ※おもちゃは1家族1回3個まででお願いします。
- ※その日に修理できないおもちゃは後日返却します。
- ※費用は無料ですが、部品交換が必要な場合は、実費をいただくことがあります。
- ※修理できないおもちゃもあります。ご了承ください。
- ※電子ゲーム、テレビにつなぐようなおもちゃは修理できません。



善意銀行

ご寄付お礼申し上げます。お預かりしました金品は、市内の社会福祉事業に払い出いたします。

令和6年9月1日～令和6年11月30日(敬称略)

金銭預託

●廣橋一裕	20,000円
●匿名	23,555円
●匿名	100円
●NPO法人 障がい者支援ねっとまつばら	3,000円
●本門仏立宗 本行寺	10,000円

物品預託

●匿名	リクライニング式車椅子
●株式会社 廣川	昆布製品500個

わかり合える仲間がいます

松原介護者家族の会の交流会のお知らせ

介護について、さまざまな悩みを抱えた介護者が、少しでもより良い介護ができるようお互いを支えようと、話し合いや情報交換をしています。一人で悩まずに一緒に考えてみませんか。

定例交流会

- 日時：2月3日(月)・3月3日(月)・4月7日(月)13時30分～15時
- 場所：まつばらテラス3階介護予防室
- 問合せ先：松原市社会福祉協議会

☎：072-333-0294
FAX：072-335-0294

とくれいかしつけ コロナ特例貸付の利用者の方へ

返済について困ったこと、わからないことがあればご相談ください。

返済の方法がわからない

返済ができない

免除や猶予手続きがわからない

●松原市社会福祉協議会(貸付担当)

☎072-333-0294 または メール(当会ホームページのお問合せフォーム)

まつばら 松原ファミリー 地域コンサート

- 日時：2025年2月9日(日) 13:30～15:00(開場13:00)
- 場所：城連寺コミュニティセンター
- 内容：マリンバの演奏・「みんなで歌いましょう」コーナーなど
- 出演：マリンバ物語
- 定員：先着100人
- 費用：無料
- 問合せ先：NPO法人 介護支援の会松原ファミリー 末田(電話) 072-332-3120

歳末たすけあい募金 助成金事業です。

さいがい ようせい こうざ 災害ボランティア養成&ステップアップ講座

大きな災害が発生した際には、松原市でも多くのボランティアが必要となります。昨今は大きな災害が増えており、普段からの心構えと準備が重要で、多くのみなさんのチカラが不可欠です。ぜひともご参加をお待ちしています！

- 日時：2月15日(土) 10:30～12:00
- 場所：松原市総合福祉会館 3階 会議室(新堂1-589-6)
- 内容：「初めてでも安心! 災害ボランティア入門講座」
「能登半島地震における災害ボランティアセンター 支援報告」
- 講師：NPO法人 松原防災士会 新田 剛志 氏ほか
- 定員：30名(電話で申込受付・先着順)
- 申込先：まつばらボランティアセンター ☎072-339-0741




ぼうさい もしもの備え! 「防災×ICT」

さいがい せつ ちうんえいくんれん 災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催しました

10月13日(日)に災害ボランティアセンター開設・運営訓練を実施しました。今年度も多くの機関や団体と協働し、主に災害ボランティアの方々をスムーズに受け入れることに取り組みました。本訓練ではICTの活用を取り入れ、アプリによる災害ボランティアの事前申込の導入や、当日参加者をQRコードで読み取るなど、スマートフォンを活用することで円滑なセンター運営を体験することができました。

被災者と支援者の架け橋となる災害ボランティアセンター。訓練を継続的に行うことで、運営の課題点を抽出し、また参加者の意見に耳を傾け、改善点などを引き出します。松原市社会福祉協議会ではこれからも災害時に備え、研修や訓練の開催、災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直し、職員の知識向上などに努めてまいります。





障がいのある方の生活応援隊!
障害者等相談支援事業

まつばらピアセンター mini通信

松原市阿保1-1-1 松原市役所東別館1階
TEL.072-337-7333 FAX.072-335-1294
URL <http://www.matsubarashakyo.net>

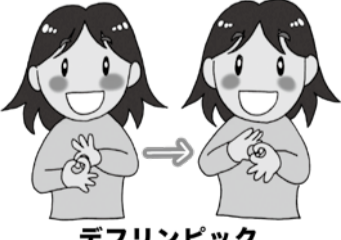
こくさいしゅわ 国際手話ってな～に?

いよいよ東京2025デフリンピック(聴覚障がい者のオリンピックで4年に1度開催)が、今年11月にアジアで初めて開かれます。聴覚障がい者のアスリートたちは、一生懸命練習を積み重ね、大会の運営を支えるボランティア募集も始まっています。全国の小・中・高生が選んだメダルのデザインも決まり、準備も進んでいます。

オリンピックでは、英語・フランス語・開催国の言語が使われますが、デフリンピックはどうでしょうか?手話にもそれぞれの国の手話があります。ろう者の国際交流などの場で、自然に発生する手話もあり、それが国際手話となり、大事なコミュニケーション方法となっています。

東京2025デフリンピックでは、国際手話と日本手話と英語と日本語が使われることとなります。開催に向けて、国際手話の講座も始まっています。国際手話を学び、外国のろう者と交流してみたいはいかがですか?

聴覚障がい担当ピアカウンセラー 伊藤



デフリンピック